



# 減らそう犯罪通信

平成22年1月号

発行・編集

広島県警察本部  
減らそう犯罪推進室  
〒730-8507  
広島市中区基町9-42  
TEL 082(228)0110  
FAX 082(222)7902

## 平成22年の基本方針と運営重点

### ○ 基本方針

安全・安心を 県民とともに築く 力強い警察

### ○ 運営重点

- ・「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動の推進
- ・少年非行防止総合対策の推進
- ・交通死亡事故抑止対策の推進
- ・テロ、災害等緊急事態対策の推進
- ・暴力団等の組織犯罪対策、歓楽街総合対策の推進
- ・県民の要望にこたえる治安基盤の確立
- ・悪質重要犯罪の徹底検挙

### ◎ 自転車盗及び万引き防止対策の推進

県内における昨年11月末現在の自転車盗の認知件数は6,577件で、前年同期と比べ317件(5.1%)増加しています。また、万引きの認知件数は3,198件で、前年同期と比べ156件(5.1%)増加しており、この2罪種で刑法犯の総認知件数の36.6%を占めています。

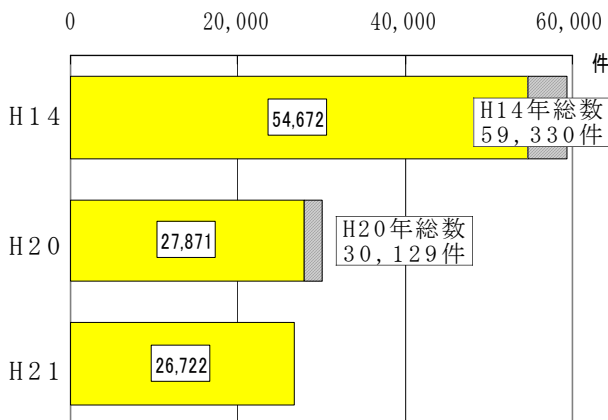
このような現状から、県警察では、関係機関・団体、ボランティア等の皆様と協働・連携して総合的な自転車盗及び万引き防止対策に取り組んでまいります。

自転車盗対策では、JIS規格の良質な鍵の普及やツーロックの促進、市町による駐輪施設への防犯カメラの設置など施設の整備や放置自転車の撤去、また、ボランティア等との協働・連携による駐輪自転車の防犯診断等による自転車盗が発生しにくい環境づくりの推進、さらには、高等学校に対する盗難防止講習の実施等に取り組めます。

さらに、万引き対策では、万引き多発店舗による「万引き追放宣言」をはじめとして、自主的な防犯カメラの設置、万引きしにくい商品の陳列、店員・警備員等による声かけ・警戒等の未然防止対策に取り組めます。

### ◎ 県内の刑法犯認知状況(H21.11末現在)

運動目標:だれもが“安全・安心”を実感できる広島県の実現  
行動目標:今後5年でピーク時(H14年)の半減を目指す



H14年同期比-27,950件, -51.1%  
H20年同期比-1,149件, -4.1%

### ◎ 県内の交通事故発生状況(H21.11末現在)

区分	H21.11末	H20.11末	前年対比		
			増減数	増減率	
事故件数	15,607件	15,824件	-217件	-1.4%	
死者数	129人	114人	15人	13.2%	
負傷者数	19,737人	19,885人	-148人	-0.7%	
高齢者	事故件数(1当+2当)	4,339件	4,136件	203件	4.9%
	死者数	60人	44人	16人	36.4%
飲酒	事故件数(1当)	142件	142件	0件	0.0%
	死者数	9人	14人	-5人	-35.7%

- 死者数に占める高齢者死者数の割合46.5% (全国平均48.6%, 全国第17位(割合が低い順))
- 高齢者の交通死亡事故の特徴は、歩行中33人(うち横断中29人)が最も多く、次いで四輪乗車中が15人でした。

注:飲酒による事故件数とは、第1当事者側(自転車以上)に飲酒が認められた件数を示し、死者数は当該事故における全死者数を示す。

☆ 安全・安心情報テレホン 082-223-3746 (二人三脚でみな知ろう)

### ◎ ひったくり対策の推進

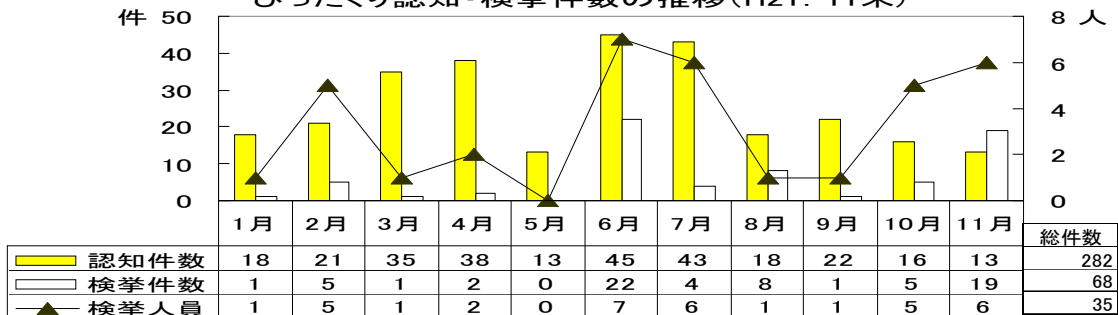
県内における昨年11月末現在のひったくりの認知件数は282件で、前年同期と比べて122件(76.3%)増加しています。一方、検挙件数は68件で、前年同期と比べて21件増加し、10月からは認知件数も減少に転じています。

被害者の92%は女性で、自転車の前(後)カゴに入れていてバック等をひったくられた被害が44%、手に持っていた被害が39%でした。

自転車の前(後)カゴにはネットをかけたり、バック等は車道と反対側に持つ、後ろからバイクが来る気配がしたら振り向くなど、ちょっとした心がけでひったくりを未然に防ぐことができます。

県警察では、今後も被害者となりやすい女性に対する防犯講習会の開催や、犯人検挙に向けた捜査活動を強力に推進してまいります。

ひったくり認知・検挙件数の推移(H21.11末)



### ◎ 振り込め詐欺対策の推進

県内における昨年11月末現在の振り込め詐欺の認知件数は124件で、被害額は約7,800万円です。前年同期と比べて、309件(-71.4%)、約4億4,200万円(-85%)と大幅に減少しています。しかし、11月中旬から12月初旬にかけて、下記のとおり、警察官や息子あるいは銀行協会の職員を名乗って、キャッシュカードの引渡しや現金の振り込みを要求する「なりすまし詐欺」の情報を137件認知しており、そのうち9件が既遂となりました。

- 警察官を名乗る手口
- ・振り込め詐欺の犯人を捕まえ、通帳を多数押収した。
  - ・その中にあなたの通帳があった。
  - ・警察官(又は銀行協会の者)を行かせるので、キャッシュカードを用意して欲しい。
- 息子(孫)を名乗る手口
- ・会社の先輩に誘われて、会社の金で投資信託に手を出したが、失敗した。
  - ・上司と相談して、こっそりお金を戻そうと思う。
  - ・200万円を振り込んで欲しい。

ご息子が帰省された際には、しっかりとコミュニケーションをとるとともに、合い言葉を確認するなど、振り込め詐欺の被害に遭わないようにしましょう。

### ◎ シートベルトの着用状況

全国一斉のシートベルト着用状況調査(H21.10実施)の結果、本県では、後部座席に乗車される方のシートベルトの着用率低下が目立ちました。

一般道では、着用率25.8%で前年と比べて4.0ポイント減少し、全国平均と比べて7.7ポイント下回っていました。また、高速道では、着用率60.9%で前年と比べて4.5ポイント減少し、全国平均と比べて2.5ポイント下回っています。

後部座席のシートベルトの着用について、県警察では、関係機関・団体と協働・連携し、広報啓発活動を推進してきましたが、未だ着用が習慣化されていない状況です。

シートベルトは大切な「命」を守ります。車に乗ったら、前も後ろも、まずシートベルトを着用しましょう。